

## 令和7年新年の抱負

新年あけましておめでとうございます。

昨年は、市制施行50周年を迎え、さまざまな記念事業やイベントを通して、市民や企業の皆さまと共に本市の歩みを振り返るとともに、今後のさらなる飛躍と次世代への期待を共有する喜ばしい年となりました。

さて、昨年を振り返りますと、市の持続可能な発展に向けて推進している、大学と市が一体となって進めるまちづくり、Town & Gownの取組みにおいて、新たに広島国際大学に「東広島健幸ステーション」が設置されました。これにより、市内の3大学に連携のハブとなるTown & Gown Officeが整い、連携や地域の活性化に資する取組みが一層促進されることを期待しております。

また、こうした動きに並行して、西条駅、広島大学間での自動運転・隊列走行BRTの実証実験や広島大学周辺地域の脱炭素先行地域への選定、河内町入野への県営産業団地の整備決定など、未来に向けた市の礎となる動きが着々と始まってきております。

さらに、本市の歴史文化の特長の一つである酒造りにおいては、西条酒蔵群における国史跡指定や伝統的酒造りのユネスコ無形文化遺産登録など、国内外にその価値が認められ、本市の認知度向上の面において追い風が吹いております。

今年は、第5次東広島市総合計画後期基本計画のスタートの年となります。

昨年までの新たな動きを今後の市の発展への追い風としてしっかりと受け止める中で、現在策定中の計画では、「Well-beingを実感できる地域共生社会の実現」や「次世代学園都市の実現」、「多様な主体と地域資源を活かした人口減少地域総合対策」、「子どもの健やかな成長のための環境づくり」の4つのテーマを中心に施策の推進を図ってまいります。

来年度の具体・個別の取組みについては、令和7年度予算の記者会見で述べさせていただきますが、全体の施策に通ずる共通事項としては、子どもから高齢者、外国人など多様な主体が世代や文化の違いを超えてつながる地域共生社会の実現、そして、女性や若者など多様な主体が活躍できる環境の醸成に重点的に取り組んでまいりたいと考えております。

また、次世代学園都市の実現に向けた都市基盤の整備や地域における新たな価値創造の取組みなどについても引き続き積極的に取り組み、市民の一人ひとりがWell-being（幸福感）を感じられる「やさしい未来都市 東広島」の実現に向けて全力で取り組んでまいります。